



上毛新聞 号外

第90回



全国高校野球県大会

▶決勝

樹徳	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0		1
桐生第一	0	0	1	0	0	1	0	0	0	X		2

桐一 2年ぶり 甲子園

球都決戦 樹徳に競り勝つ



2年ぶり9度目の甲子園出場を決め喜ぶ桐生第一ナイン
|| 県営敷島

6日目第1試合 金沢(初)と初戦

第90回全国高校野球選手権県大会最終日は25日、前橋・県営敷島球場で決勝戦を行い、桐生第一が樹徳を2-1で下し、2年ぶり9度目の栄冠に輝いた。大会6日目第1試合で石川県代表の金沢と対戦する。

桐生第一は三回、田部井が右翼席へのソロ本塁打を放ち先制。六回には三上の中前打で貴重な追加点を挙げた。投げては先発の田中が初回到安打を許したが二回から六回まで3者凡退の好投。1点差に詰め寄せられたが、八回から救援した清村がリードを守りきった。

16年ぶり3度目の優勝を目指した樹徳は、前日13回を一人で投げ抜いた岡貴が走者を背負いながらも要所を締めたが、あと一歩及ばなかった。

前橋市の最高気温が35度に達する猛暑日となる中、内野スタンドは学校関係者や野球ファンらでほぼ満員となり、球都対決に熱い視線を送った。